

地域振興・防災・環境対策特別委員会 視察のご報告

鹿児島県にある徳之島の天城町、伊仙町、徳之島町の3町と奄美大島を訪ねました。

天 城町は、中央公民館の老朽化、医療環境の問題、保健センターの老朽化を解決するために、3つの機能を1か所に集約し、非常時に即応できる総合防災拠点施設を整備しました。その際、保健施設と内科・歯科診療所を併設した岡山県新見市哲西町の施設を参考にされたとのことでした。

伊 仙町は合計特殊出生率が2.81で全国一位。転入も転出を上回っています。

集落機能の維持・強化に向けた取り組みについて伺いました。特徴的だったのは、小規模校を残すまちづくり。人口6000人の町に、幼稚園が3園、小学校が8校、中学校が3校あります。子どもの数が減り、小学校の存続が危ぶまれたこともあったそうですが、学校は地域コミュニティの中心であり、なくてはならないとの方針で、小規模校の学区への優先的な住宅建設や、ICTを活用した学力向上を行っています。その結果、青年団の復活など、地域に活気が溢れていました。

伝統的な支え合いの風土や、首都圏との交流も盛んで、私たちが伺った日は、東京から若手シェフたちが訪れており、伊仙町の食材を使った料理の提供をはじめ、夢のある取り組みの企画に盛り上がっていました。

徳 之島町では、島の素材を活かした6次産業の推進について、加工センターを視察しました。ここでも農業女子が頑張っており、東京のデパートとのコラボレーションでスイーツなど美味しそうな加工品が作られていました。

奄 美大島では移住・定住促進に向けた取り組みについて伺いました。写真中央は岡山県美作市出身の方。定年退職後、東京から奥様のご実家のある奄美大島に移り、米とサトウキビの有機栽培に取り組み、黒糖焼酎を作っているそうです。

そ れぞれの地域がそれぞれの特性を活かし、知恵を絞り、地域の維持と発展のために一生懸命に取り組んでいます。私たちも負けられません。



伊仙町



徳之島総合食品加工センター



奄美大島

県政報告 クローバー通信

岡山県議会議員

木口京子

第8号
2019年3月



ごあいさつ

平成30年は岡山県にとって忘れられない、忘れてはいけない年となりました。7月の豪雨災害により多くの方々がお亡くなりになり、依然として多くの方々避難生活を送られています。ある日を境にして生活が一変し、生活再建に向けて前向きな気持ちと不安との間で揺れ動く日々…。法律や条例、施策は人のためにあるのだから、一人ひとりがまた頑張ろうと歩み出すための政治行政を行いたいと思います。また、災害への備えについて、ハード面、ソフト面ともに、一人の犠牲者も出さないという強い決意で見直します。

少し先を見通して

国では働き方改革や外国人雇用についての法案が通りました。人材不足により海外からの人材に頼りたい現実は待たなすです。既に外国人技能実習生として多くの方が働いていますし、留学生も増加しています。これまであまり外国人との共生に馴染みのない日本において、同じ地域で生活するために配慮すべきことは、言葉や文化、生活習慣など山のようにあります。少し先の時代を見通し、国政での議論の先を予測しながら、地域で準備すべきことを考える。地方自治の責任だと思っています。

所属委員会において

文教委員会では、「岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(案)」が提出されました。

生徒数の減少により学校再編が行われるのではないかと危機感強く、地域における学校の役割と教育の質について議論されました。インターネットの進歩等により学び方も大きく変わろうとしています。いまや「ハーバード以上の難関」といわれ、キャンパスを持たず、4年間で7都市を移動しながら学ぶ全寮制の大学があります。授業はオンラインで、PCとインターネット環境があれば世界中のどこからでも授業を受けることができます。裏を返せば、「学校」がどこにあっても質の高い教育は可能な時代、従来の思考を超える必要があります。

児島湾締切堤防は来年度から耐震化の工事が着手されます。地盤沈下を防ぎ、強い揺れに襲われても開閉機能を維持するための大工事です。事業期間は未定ですが、命を守るためにできる限り迅速に完了するよう努めます。

人口が減少するこれからの日本で、支え合う仕組みをどう維持していくか。全国津々浦々で努力されている地域の取り組みも参考に、安心して子育てができ、子どもも大人もみんな自分自身の可能性を信じて明るく生きていくことができる岡山県を創るために、皆さんと一緒に知恵を絞り、取り組んで参ります。

岡山県議会議員

木口京子

岡山県議会議員 木口京子事務所

〒709-1203 岡山市南区西紅陽台2-58-594
TEL:086-363-5030 / FAX:086-363-5031

✉ kyoko_kiguchi@themis.ocn.ne.jp

原則として、
月・水・金(祭日を除く)の
10時~16時
に事務員さんがいます。

県政へのご意見やご質問など、皆さんのお声を、お気軽にお寄せ下さい。



岡山県議会 平成30年11月定例会 一般質問

今回は、防災や教育、図書館の役割について質問しました。その中から、いくつかの項目をご紹介します。



① 防災について

自助力の向上について

防災減災では、自助・共助・公助といわれますが、今夏の豪雨時の避難状況を見て、まずは個人の自助の力を高めることが必要不可欠だと感じました。

住民の避難行動を支援するために、県はこれまで浸水想定区域図や土砂災害警戒区域図等を市町村に提供し、ハザードマップ作成の支援を行ってきましたが、真備地区の現状を見ても、必ずしもハザードマップを活用した自主防災活動につながっていなかったことがはっきりしました。

県民一人ひとりが、自分の身は自分で守り共助の手を差し伸べられるよう、具体的に危機感を持ち、行動に移すために、自分で考えて判断する材料を作成し、研修等を行うなど、県民の自助力及び地域の自主防災力を高めるための取り組みについてお尋ねしました。



知事 自らの命は自らが守ることは防災の基本である。今回の豪雨災害では、多くの方々の命を救った地域の取り組みもあり、県民の防災意識が高まっている今こそ、市町村とも連携を図り、ご提案も参考に、いざという時に避難行動に結びつく取り組みを進めていく。

常備消防と県の連携について

災害時には各地の消防団がいち早く状況を把握し、消防本部に情報を上げる仕組みになっており、119番などには、最もリアルな現場情報が入ります。これらのリアルな情報を共有し、人命救助や被害の軽減に役立てるべきです。また、常備消防の圏域を越えた災害時の県の役割も想定すべきだと考えます。今後の常備消防と県の連携についてお尋ねしました。

危機管理監 災害時における消防本部からの情報は、市町村災害対策本部が集約し、県に報告することを基本としているが、こうした情報は、救命救助に大変重要であり、今回の災害対応を踏まえ、必要な場合には、県と各消防本部が直接情報共有できるよう検討を進めたい。また、常備消防の圏域を越えて発生する災害に対し、広域的な活動をより円滑に行うことができるよう、現在の県内全市町村で締結した相互応援協定に、県も加わった新たな協定の締結に向け、市町村等との協議を進めている。

② 教育について

岡山県の教育の未来像について

国は、Society5.0に向けた人材育成の中で、学びの在り方の改革を打ち出し、具体的な施策を提言しています。これまでの延長線上にない新たな時代に子どもたちはどう生きるのか、人生100年時代に生きる子どもたちに必要な力は何か、先を見据えた岡山県の教育の未来像を示す必要があると考え、知事及び教育長の所見をお尋ねしました。



知事 Society5.0は、AI等の先端技術が発達し、産業や働き方が大きく変わる社会だ。このような社会を生きていく子どもたちには、AIにはない対話力や創造性など、人間としての強みをさらに伸ばしていく必要があり、こうした力をしっかりと身に付けさせる教育が今後一層重要になるものと考えている。

教育長 これからの子どもたちには、AIを理解し使いこなすための科学的思考力のみならず、AIによって代替できない、人間としての強みを発揮できる基盤として、論理的思考を行うための読解力や、他者と協働して思考を深める対話力、実体験を通して醸成される豊かな感性や創造力等を身に付けさせることが大切だ。このため、スタディ・ログ等教育分野のAIを活用することにより、個人の能力や進度に応じた教育を一層効果的に進めていくことや、他者との関わりの中で、体験と実践を伴った探求的な学びに取り組むことが必要だと考えている。

③ 図書館の役割について

近年、図書館は地域社会の課題解決に向けて行政・関係機関・住民をつなぐハブへと、機能面での変化を遂げつつあります。第4次産業革命の技術が社会をどう変えていくのか、予測が容易ではない時代、人生100年時代といわれ、生涯学び続ける時代に、図書館はどのような役割を担うのか。目指す未来像を、現状の課題認識も含めてお尋ねしました。

教育長 今後、先端技術が発達する社会においても、AIにはない人間としての強みである、文章を正確に理解するための読解力を養うことは重要であり、読書の機会を提供する図書館の役割は、一層増していくと考える。地方創生の観点からは、地域課題等の解決に資するレファレンス機能の充実が求められており、調査研究のための資料提供や司書の資質向上にも取り組んでいく。また、地域住民の交流や生涯学習の拠点としての役割も担っていく必要があると考えている。

